

研修部会（第3回） 報告書

日時：令和5年9月25日（月）10時00分～11時55分

場所：彩の国すこやかプラザ4階「会議室2」

出欠：出席 14名 欠席 4名

報告者：尾高 幸江（加須市）

1 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会 参加報告

（開催期日：令和5年9月7日～8日 場所：新潟県新潟市）

分科会2「民児協の新任委員等に対する活動継続支援」に参加した芦澤部会長から報告

- ① 大切なことは先輩委員による引継ぎや助言であり、新任研修と共に難しい言葉ではなく、分かり易いことで対応すると良い。
- ② 相模原市横山地区の発表から、協力員制度やタブレットの導入、活動用マップを全市統一で作成等の相模原市民児協の取り組みを視察研修できると良い。

2 令和5年度埼玉県民生委員大会「部会発表」振り返り

- ① 矢島副部会長…質問に対して項目に分けて詳細を回答すればよかった。
- ② 部会としての発表はとても良かった。芦澤部会長と矢島副部会長のお骨折りには感謝。
- ③ 今後も同じ様な形で行うなら、運営に関する密な連携が必要である。
 - ア 表彰受賞者の案内状を受付で渡し、リボンを受け取って着ける等で、案内状を持参させた意味とリボンで案内係がどの表彰か分かり易くした方が良い。
 - イ 座席のテープは良かったが、話を聞かない場合があるので、市町村毎に座席を決める。
 - ウ 受付の有無が分からなかった。

3 今後の活動について

（1）地域版 活動強化方策

- ① 6月23日研修会の動画を活用して各地域での進捗状況を年明け頃に報告してほしい。
- ② 地域による文化の違いや行政の扱いの違いに注意し、その地区・地域による「活動方針」の作成から始めると良い。
- ③ それぞれの地域性があるので、わが町、わが市のやり方で一歩ずつ前進。時間をかけて作り上げていくことに意味がある。
例えば、個人情報を取り上げても各市町村の対応はさまざまである。
・住民票の写しを見せてもらえる（加須市）

- ・敬老会のチラシを持って訪問し一緒に調査もしている（滑川町）
- ・本庄市は情報を提供してもらえない。

④ 各市町村行政によって扱いの違いが大きい。

- ア 各種名簿の出し方
- イ 民児協へのお金の使い方。
- ウ 個人情報の捉え方

すべての活動はそれぞれの地域性を重視し、それぞれの地域のやり方で情報共有を図りながら実施する。

（２）令和５年度埼玉県民生委員・児童委員研修－会長・副会長研修－

８月２５日の研修会や市町村においてのDVD研修について、「埼玉県民児協だより（令和６年２月号）」に掲載するため、１１月末までに原稿を集める。

提出された中から掲載スペースに合わせて選定する。

<原稿の主な内容>

- ① DVD研修の実施方法
- ② 受講後の感想・意見等（新任委員、中堅委員、単位民児協会長等）

◆牧野常務理事より

- ① 相模原市民児協への視察研修について、正副会長会議において提案し承認されればよろしいのではないのでしょうか。
- ② 地区民児協支援部会において、『協力員制度』について検討しており、全国大会の際に広島市民児協の取り組みを勉強に行きます。
- ③ 県大会の部会発表は良かったと思います。また、いただいた運営に関するご意見は来年度の準備委員会等で検討します。
- ④ 個人情報については、皆さんで意見交換をする形で、研修を検討していただきたい。